

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
1単元の株式の数	100株
利益配当金	毎決算期現在の株主名簿に記載された株主又は登録質権者に対し、お支払いいたします。
中間配当金	中間配当を行う場合は、毎年9月30日現在の株主名簿に記載された株主又は登録質権者に対し、お支払いいたします。
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社本店 及び全国各支店
公 告 の 方 法	日本経済新聞に掲載します。ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html において提供します。
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第一部

株式会社 マースエンジニアリング



第31期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで



株式会社 マースエンジニアリング
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-7
TEL. 03-3352-8555 (代)
URL : <http://www.mars-eng.co.jp>

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第31期上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに当上半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当社は、皆様のご支援を賜り、平成17年9月13日に創立30周年を無事迎えることができましたので、当期の中間配当金につきましては、平成16年9月30日現在の株主の皆様に対し、1株につき普通配当15円に記念配当5円を加え、合計20円の中間配当金をお支払いすることといたしました。また、期末配当金につきましても、1株につき普通配当15円に記念配当5円を加え、合計20円を予定しており、中間配当金を含めました年間配当金は1株につき40円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

代表取締役社長 松波明宏

(1) 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、企業業績の改善や設備投資の増加を背景に引き続き回復基調で推移いたしました。雇用や年金問題など将来に対する不安感が強く、個人消費は本格的な回復には至りませんでした。

パチンコ業界におきましては、遊技機の設置台数は増加しているものの、景気の長期低迷により遊技客人口は伸び悩んでおり、限られた中でパチンコホール間の競争が益々激化し、勝組企業はチェーン展開や店舗の大型化を進めていく一方で、負組企業は、次第に廃業・淘汰され、二極化が一層鮮明となりました。また、11月発行の新紙幣に対応するため、設備投資が増加しており、パチンコホールの経営を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続きました。

このような情勢の下で当社グループは、開発型企業グループとして独自のアイデアを持って顧客のニーズをいち早く取り入れ、多様なパチンコ周辺機器を開発、販売してまいりました。中でもプリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムは、市場で高く評価され、主要な機能は業界の標準になりつつあります。サイクルカードシステムを中心に販売を推し進めてまいりました結果、当中間連結会計期間におけるサイクルカードシステムの売上実績は、212店舗（前年同期比3.9%増）となりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高171億12百万円（同26.1%増）、営業利益51億54百万円（同51.3%増）、経常利益51億77百万円（同50.0%増）、中間純利益30億53百万円（同60.9%増）となりました。

事業の部門別業績は次のとおりであります。

<パチンコ関連事業部門>

当社グループは、開発・製造・販売・メンテナンスまでを一貫して行い、トータルコストの削減を実現しております。販売競争が激化している中、ニーズにあった多種多様の製品を取り揃え、充実したアフターサービスで顧客満足は勝ち得たことで、サイクルカードシステムの導入（実稼動）実績は、毎月次において2年以上連続でトップとなり、9月末現在で累計1,450店舗、シェア11.9%となりました。

この結果、売上高は168億52百万円（同26.6%増）となりました。

<その他事業部門>

その他事業部門におきましては、ホテル事業を行っており、前期サンルートチェーンお客様アンケート“フロント部門”第1位を維持するための質（客室、接客マナー）の向上を図っております。しかしながら本年3月に九州新幹線の開業に伴う観光客の南九州方面へのシフトや、低価格化が進むインターネット宿泊サイトの利用者増の影響もあり、売上、利益、稼動は、前年同期比では上回ったものの上期予算を達成することはできませんでした。

この結果、売上高は2億60百万円（同0.7%増）となりました。

(2) 通期の見通し

下期の経済見通しにつきましては、企業収益や設備投資は、緩やかな回復基調を堅持していく一方で、原油価格の高騰など、景気に対する先行き不安感が強く、個人消費を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くものと思われま

す。パチンコ業界におきましては、個人消費の回復が遅れていることから引き続き厳しい経営環境が続くものと思われま

すが、7月1日施行の遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の改正による新基準の遊技機が各メーカーよりリリースされる予定となっており、ファンの回帰が望まれるところであります。このような環境の中で、当社グループは、業務の効率化を図り、トータルでのコストダウンを推し進めるとともに、市場の求める製品の開発を積極的に行い、アフターサービスの充実を図ることで、一層の顧客満足度を高め、市場競争力の強化に努めてまいります。

パチンコ関連事業部門につきましては、引き続きプリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムの販売に注力し、プリペイドカードシステムの市場シェア3位を目指してまいります。また、サイクルカードシステムを中心に景品管理や島補給などの各種周辺機器システムの提案をしてまいります。

その他事業部門につきましては、ホテル事業を行っており、平成15年度に続き、平成16年度サンルートチェーンお客様アンケート“フロント部門”連続第1位獲得と、1ランクアップの客層に対する更なるサービスとスタッフの質の向上と客室等施設の向上、また、初回利用のお客様のリピート率の向上を図るためにも、個々のお客様の要望にこたえられる顧客管理の徹底と経費節減、高売上を目指す施策を図ってまいります。

なお、通期の連結会計年度の業績見通しにつきましては、売上高355億21百万円（前期比15.6%増）、営業利益101億85百万円（同24.6%増）、経常利益102億21百万円（同23.7%増）、当期純利益57億51百万円（同35.6%増）を見込んでおります。

中間連結財務諸表等

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当中間連結会計期間末 (平成16年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成15年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)				
流動資産		34,988,960	28,371,085	32,174,627
現金及び預金		12,472,107	9,999,573	10,633,446
受取手形及び売掛金		9,902,595	8,882,486	10,518,982
有価証券		8,069,056	5,120,648	7,134,206
たな卸資産		3,772,922	3,799,101	3,184,929
繰延税金資産		463,238	386,796	499,330
その他		344,140	189,161	239,754
貸倒引当金		△ 35,098	△ 6,683	△ 36,021
固定資産		12,603,381	12,940,743	13,105,732
有形固定資産		10,411,463	10,508,988	10,511,211
建物及び構築物		4,131,733	3,965,851	4,233,891
機械装置及び運搬具		105,845	99,428	119,177
工具器具備品		372,736	406,406	375,742
土地		5,801,147	5,782,399	5,782,399
その他		—	254,903	—
無形固定資産		72,310	116,324	91,466
連結調整勘定		—	11,665	6,901
その他		72,310	104,658	84,565
投資その他の資産		2,119,607	2,315,429	2,503,053
投資有価証券		1,058,053	1,466,541	1,575,342
繰延税金資産		637,109	485,510	587,287
その他		680,777	533,264	608,629
貸倒引当金		△ 256,333	△ 169,886	△ 268,206
資産合計		47,592,341	41,311,828	45,280,360

(注) 1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当中間連結会計期間末 前中間連結会計期間末 前連結会計年度末

2. 有形固定資産の減価償却累計額 4,040,241千円 3,856,932千円 4,021,690千円

(単位：千円)

科目	期別	当中間連結会計期間末 (平成16年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成15年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成16年3月31日現在)
(負債の部)				
流動負債		12,770,612	11,209,541	12,566,665
支払手形及び買掛金		4,245,844	3,625,059	3,392,821
短期借入金		1,000,000	1,000,000	1,000,000
1年以内返済予定長期借入金		300,000	300,000	300,000
未払法人税等		2,066,919	993,501	2,836,977
賞与引当金		343,363	328,713	285,551
前受金		4,015,378	4,326,314	4,008,890
その他		799,106	635,952	742,424
固定負債		2,932,325	3,075,475	3,362,781
長期借入金		250,000	550,000	400,000
役員退職慰労引当金		519,714	—	503,954
その他		2,162,610	2,525,475	2,458,826
負債合計		15,702,937	14,285,016	15,929,447
(少数株主持分)				
少数株主持分		388,294	278,141	362,992
(資本の部)				
資本金		7,934,100	7,934,100	7,934,100
資本剰余金		8,371,830	8,371,830	8,371,830
利益剰余金		14,978,578	10,359,929	12,475,532
その他有価証券評価差額金		216,893	83,103	206,751
自己株式		△ 292	△ 292	△ 292
資本合計		31,501,109	26,748,670	28,987,920
負債、少数株主持分及び資本合計		47,592,341	41,311,828	45,280,360

中間財務諸表等

中間貸借対照表

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
		自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	自平成15年4月1日 至平成15年9月30日	自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
売上高		17,112,191	13,574,434	30,723,810
売上原価		8,797,870	7,266,021	16,510,304
売上総利益		8,314,320	6,308,413	14,213,505
販売費及び一般管理費		3,159,905	2,902,766	6,038,483
営業利益		5,154,415	3,405,646	8,175,022
営業外収益		31,424	52,139	112,292
受取利息		11,721	22,893	69,364
その他の営業外収益		19,702	29,246	42,928
営業外費用		8,020	4,840	23,342
支払利息		5,941	4,205	12,996
その他の営業外費用		2,079	634	10,345
経常利益		5,177,819	3,452,946	8,263,972
特別利益		1,088	6,962	15,162
その他の特別利益		1,088	6,962	15,162
特別損失		14,533	105,179	747,610
固定資産除却損		11,754	—	—
たな卸資産廃棄損		2,778	—	158,081
投資有価証券評価損		—	103,088	—
投資有価証券売却損		—	—	91,956
過年度役員退職慰労引当金組入額		—	—	487,669
その他の特別損失		—	2,091	9,902
税金等調整前中間(当期)純利益		5,164,374	3,354,729	7,531,525
法人税、住民税及び事業税		2,041,825	981,191	3,029,952
法人税等調整額		△20,686	404,554	104,940
少数株主利益		89,993	71,308	156,156
中間(当期)純利益		3,053,242	1,897,675	4,240,475

(注) 1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

3. 1株当たりの中間(当期)純利益 134円39銭 83円52銭(※) 182円43銭(※)
 ※平成16年9月17日付をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割しており、1株当たり中間(当期)純利益は、株式分割が前期に行われたと仮定して表示しております。

(単位：千円)

科目	期別	当中間期	前中間期	科目	期別	当中間期	前中間期
		平成16年9月30日現在	平成15年9月30日現在			平成16年9月30日現在	平成15年9月30日現在
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		26,732,166	20,841,680	流動負債		6,240,931	4,167,788
現金及び預金		10,076,652	7,917,960	支払手形		13,471	12,541
受取手形		1,438,298	1,348,087	買掛金		3,833,539	3,038,754
売掛金		3,715,725	2,563,845	未払法人税等		1,565,239	544,980
有価証券		7,808,826	4,860,452	賞与引当金		297,589	275,133
たな卸資産		3,091,332	3,178,584	その他		531,090	296,378
その他		609,938	980,528	固定負債		567,731	429,721
貸倒引当金		△8,607	△7,780	役員退職慰労引当金		519,714	—
固定資産		10,232,397	10,486,190	その他		48,016	429,721
有形固定資産		5,750,359	5,821,501	負債合計		6,808,663	4,597,509
建物		1,868,290	1,948,118	(資本の部)			
土地		3,496,763	3,496,763	資本金		7,934,100	7,934,100
その他		385,304	376,618	資本剰余金		8,371,830	8,371,830
無形固定資産		64,123	64,816	資本準備金		8,371,830	8,371,830
投資その他の資産		4,417,914	4,599,873	利益剰余金		13,633,379	10,341,625
投資有価証券		1,058,053	1,466,541	利益準備金		372,109	372,109
関係会社株式		2,424,138	2,476,860	任意積立金		4,600,000	4,600,000
その他		1,109,642	766,003	中間未処分利益		8,661,270	5,369,515
貸倒引当金		△173,920	△109,532	その他有価証券評価差額金		216,884	83,098
資産合計		36,964,564	31,327,870	自己株式		△292	△292
				資本合計		30,155,901	26,730,361
				負債・資本合計		36,964,564	31,327,870

(注) 1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 3,407,030千円 3,234,546千円
 3. 偶発債務 3,609,019千円 6,291,300千円

中間損益計算書

(単位：千円)

科目		期別	
		当中間期 自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	前中間期 自平成15年4月1日 至平成15年9月30日
経常損益の部の 営業外損益の部	営業収益	14,308,869	11,469,566
	売上高	14,308,869	11,469,566
	営業費用	10,529,906	9,103,319
	売上原価	7,729,051	6,462,969
	販売費及び一般管理費	2,800,855	2,640,349
	営業利益	3,778,962	2,366,247
	営業外収益	100,064	68,094
	営業外費用	2,581	48
	経常利益	3,876,446	2,434,293
	特別損益の部	特別利益	1,000
	特別損失	101,535	104,386
	税引前中間純利益	3,775,910	2,336,869
	法人税、住民税及び事業税	1,534,821	532,009
	法人税等調整額	△10,215	466,877
	中間純利益	2,251,304	1,337,982
	前期繰越利益	6,409,965	4,031,533
	中間未処分利益	8,661,270	5,369,515

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(当中間期) (前中間期)

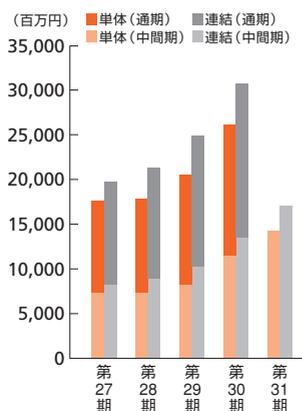
3. 減価償却実施額

有形固定資産 124,571千円 136,946千円

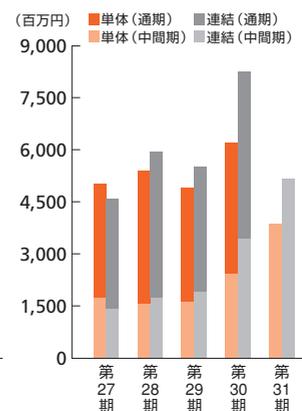
4. 1株当たり中間純利益 99円09銭 58円89銭(※)

※平成16年9月17日付をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割しており、1株当たり中間純利益は、株式分割が前期に行われたと仮定して表示しております。

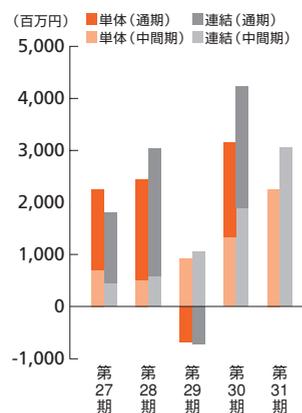
売上高の推移



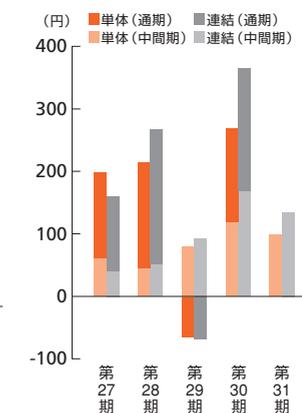
経常利益の推移



中間(当期)純損益の推移



1株当たり中間(当期)純損益



※第31期は、平成16年9月17日付をもって普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割が期首に行われたものとして算出しております。

当社グループ 平成16年9月30日現在

当社グループは、当社及び子会社5社（連結子法人等4社、非連結子法人等1社）により構成されており、パチンコ関連事業の製造販売を主たる業務としております。

当社グループの事業内容及び当社と子会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。

(1) パチンコ関連事業部門

当社

(株) マースコーポレーション

(株) マーステクノサイエンス

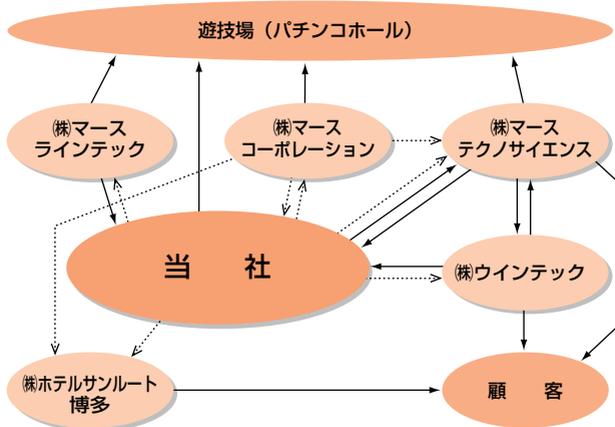
(株) ウインテック

(株) マースラインテック（非連結子法人等）

(2) その他事業部門

(株) ホテルサンルート博多

【事業系統図】



(注) 不動産の賃貸・役務の提供……>
販売の流れ——>

株式の状況 平成16年9月30日現在

会社が発行する株式の総数	67,620,000株
発行済株式の総数	22,720,000株
株主数	5,237名

会社の概要 平成16年9月30日現在

商 号 株式会社マースエンジニアリング
Mars Engineering Corporation

本社所在地 東京都新宿区新宿一丁目10番7号

設立年月日 昭和49年9月13日

会社の目的 1.各種電子機器の設計・試作並びに製造販売
2.ソフトウェアの開発
3.電子機器の開発、企画並びに販売
4.電子機器の市場調査
5.ホテルの経営
6.不動産の賃貸業
7.損害保険代理店業
8.前各号に付帯する一切の業務

資本金 7,934,100,000円

従業員数 458名（就業者数）

役員

代表取締役会長	松波 廣和	取締役	村上 浩
代表取締役社長	古宮 重雄	取締役	寺島 利勝
取締役副社長	五味 輝雄	取締役	高橋 延生
常務取締役	川上 善清	常勤監査役	後藤 利行
常務取締役	松波 明宏	監査役	竹俣 耕一
取締役	大矢 俊寿	監査役	池田 勉

(注) 1. 監査役の竹俣耕一及び池田勉の両氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。
2. 平成16年10月1日付の役員の異動は次のとおりとなっております。

代表取締役 松波 廣和
代表取締役会長 古宮 重雄
代表取締役社長 松波 明宏